

法人二税の超過課税を活用して推進する施策

【基本的な考え方】

- 県内経済の基盤強化を図るため、生産性向上への支援や人材確保への支援など、経済対策に取り組む。
- これまで「水防災戦略」に基づき進めてきた河川の整備等の大規模水害対策はもとより、令和7年3月に改定した「地震防災戦略」に基づく大規模地震対策や減災対策につながる電線の地中化など、災害に強い県土づくりに継続して取り組む。
- 県内経済の持続的発展や災害時における物資輸送に資するため、県土構造の骨格となる自動車専用道路や地域の交流と連携を支える幹線道路などの整備に継続して取り組む。

活用項目		令和8年度当初予算額	
		事業費総額	一般財源
I 経済対策の推進		87億9,567万円	83億6,117万円
<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上に資する設備導入などに対する支援 働きやすい環境整備など人材確保への支援 			
II 災害に強い県土づくりの推進	(1) 台風・豪雨・火山などの自然災害対策 <ul style="list-style-type: none"> 「水防災戦略」に基づく河川の整備や市町村が行う避難所の環境整備への支援などの大規模水害対策 治山・法面や林道の整備 	487億1,824万円	130億9,486万円
	(2) 地震・津波対策の一層の強化 <ul style="list-style-type: none"> 地域防災力向上に向けた市町村の取組の支援 電線の地中化 	111億6,554万円	43億7,350万円
	うち、政令市市街地再開発臨時補助金(財源は全額超過課税を活用)	6億2,639万円	6億2,639万円
	(3) 災害に備えた社会基盤施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> トンネル、橋などの安全性向上 	220億2,544万円	51億1,740万円
	(4) 災害時に重要な役割を果たす県有施設等の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難所や帰宅困難者の一時滞在施設に指定されている県有施設、警察署などの耐震化 	86億4,777万円	21億5,363万円
小計		905億5,701万円	247億3,940万円
III 県内経済の持続的な発展に向けた幹線道路の整備		250億4,832万円	35億1,586万円
<ul style="list-style-type: none"> 自動車専用道路やインターチェンジ接続道路、地域の交流と連携を支える幹線道路の整備 			
うち、政令市道路整備臨時補助金(財源は全額超過課税を活用)		9億3,000万円	9億3,000万円
合計		1,244億 101万円	^A 366億1,645万円

^B 超過課税活用額	304億5,082万円
超過課税活用率 (超過課税活用額/一般財源)	^B / ^A 83.2%

<参考> 主な活用事業

I 経済対策の推進

事業名
中小企業生産性向上促進事業費補助
仕事と育児の両立支援環境整備促進事業費
など

II 災害に強い県土づくりの推進

項目・事業名	
(1) 台風・豪雨・火山などの自然災害対策	
河川改修事業費	など
(2) 地震・津波対策の一層の強化	
市町村地域防災力強化事業費補助金	
政令市市街地再開発臨時補助金	など
(3) 災害に備えた社会基盤施設の整備	
道路災害防除事業費	など
(4) 県有施設等の耐震化	
高相合同庁舎新築工事費	など

III 県内経済の持続的な発展に向けた幹線道路の整備

路線名	箇所(区間)等
横浜湘南道路	栄IC・JCT ~ 藤沢IC
厚木秦野道路	圏央厚木IC ~ 厚木北IC
	伊勢原市西富岡 ~ 秦野中井IC
(都) 西海岸線	三浦市三崎町 ~ 初声町
県道42号(藤沢座間厚木) 【座間荻野線Ⅱ期】	厚木市三田 ~ 下荻野

※ IC:インターチェンジ、JCT:ジャンクション 名称の一部は仮称